

半定量イオン試験紙 塩素 (MN91339)

取扱説明書

国内総発売元

株式会社 アイシス

大阪市東淀川区西淡路1-1-36

TEL:06-6325-1406 FAX:06-6328-8995

ご使用前に必ず熟読いただき正しく使用してください。不注意/誤った使用方法・保管方法による不具合、カタログおよび下記《取扱上の注意》を含めた各種注意事項を順守されていない場合は責任および保証の一切を負いません。

《取扱上の注意》

1. 試験紙に触れる際は必ず研究用手袋を装着してください。指示薬により皮膚に炎症を起こす恐れがあります。
2. 測定後の試験紙の変色は、時間経過によって変化する場合があります。
3. 測定値の誤読を防ぐため、比較/照合は太陽光下で行うことをお勧めします。

《使用法》

1. 必要数の試験紙をアルミ容器から取り出し、直ちに容器の栓を閉めます。
2. pH5~7 に調整したサンプル溶液に試験紙を軽く振りながら 15 秒間浸した後、取り出します。
3. 試験紙に付いた余分な液を取り除き、直ちに測定部を容器外側のカラースケールと比較/照合し判定します。
4. 塩素 (Cl₂) の存在で測定部は黄色から紫色に変色します。

《精度確認法》

本製品は使用期限の超過や長時間保管容器が密封されなかった等の不適切な保管条件で測定精度が大きく左右されます。定期的下記手順で精度確認を行ってください。

1. スターラー等で次亜塩素酸カルシウム 0.1g を蒸留水 1000mL に十分溶かします。
2. 濾過した後、光度計等の光学測定器を用い正確な全塩素濃度を測定します。
3. 1. で作成した溶液 1mL を蒸留水 100mL で希釈し、そこに塩化アンモニウムを適量加えて全塩素濃度 1mg/L に調整します。ただちに本試験紙で測定し、希釈倍率を算入した上で光学測定値と比較します。
4. 数回作業を行っても試験紙測定値と光学測定値が異なる場合は、残り全ての試験紙精度が落ちていますので、適切に廃棄してください。

《妨害》

臭素 (Br₂)、ヨウ素 (I₂)、過酸化水素 (H₂O₂) のような強酸化剤も同様の変色を示します。

《後始末》

使用後の試験紙や廃液は絶対に下水へ流さず、各自治体の条例に従い廃棄してください。

《保管》

日光および高温多湿に晒さず乾燥した+30℃以下の冷暗場所に保管し、開封後は使用期限に関わらず速やかに使用してください。